

# 大阪歯科大学 兵庫県校友会会報

第9号

要 目  
輔 朗 三 鐘 井 宮 鈴 人 行 發  
編 集 人

# 大歯本学発展の基礎成る

## 大学院建設着工迫る

### 二月上旬に起工

かねてから懸案の大阪歯科大学大学院建設はその後年度にわたる建設委員会を開催の結果、すでに設計図も完成、昭和三十四年二月を期して着工の運びとなった。  
大学院建設に関しては臨床、基礎学部が基本条件となる関係上、大阪市東区天満橋大病院に併設、八階建の鉄筋コンクリート建設が行われることになっており、これが完成の暁には大歯本学の偉容が北大阪の一角にそびえ立つことになる。

## 白数 両教授元気で帰校

欧米の歯科医学の状況を視察の床を歴訪し歯科医学の発展を目的で八月に渡米された白数美輝と、さらに九州諸国を歴訪し歯科医学の発展を目的で十一月に渡米された柳生嘉雄教授はその任務を無事果たして、旅程中にも数々の困難な体験を乗り越え、一月十五日羽田空港に帰国された。白数、柳生両教授はアメリカに基礎ともなると期待をかける。約一月間滞在、各大学および臨



(窓) 垂水区・堀家吉夫

支部長を一堂に集め  
大役員会開かる  
昭和三十三年度最後の兵庫県校友会大役員会は十二月二十一日(日曜日)午後一時三十分から兵庫県会館日本間において開催された。伊藤副会長の挨拶の後、奥野会長から大歯本学の現況報告、庶務から三十三年度事業報告があった。後懇談に入った。

## 謹賀新年

参議院議員

竹中恒夫

## 学外幹事は本県で五名

本学定例理事会で決る

九月十六日(火)午後四時からの担当理事として選ばれた。ら開かれた本学の定例理事会で学外幹事外幹事として十五名が決定した。水津 良三(庶務)が、本県からは左記の五名が各担当。村井 俊郎(編集)

## 奥野会長以下七理事決る

七月八日午後四時から開かれた定例理事会において役員改選が行われた結果、副会長に奥野半蔵、庶務伊藤栄、編集堀家吉之祐、会

## 支部だより

- 西宮分会生る  
六月八日開かれた阪神分会で西宮支部が新たに西宮分会として誕生し、阪神分会は復讐分会として新発足することになった。
- 西宮分会長 高木 剛 7
- 副会長 中川 秀夫 16
- 庶務 四方田礼太 17
- 会計 田代 茂之 22
- 分会長 山下 治夫(伊丹)
- 副分会長 櫻井慶次郎(宝塚)
- 理事 藤原 英二(芦屋)
- 理事 藤原 博(伊丹)
- 八竹 貞清(〇)
- 小原 英二(〇)
- 小寺 高志(〇)
- 今西 房夫(川西)
- 藤原 修(宝塚)
- 上住 利平(芦屋)
- 山村 至(〇)

## 飛躍と希望に満つ三十四年

奥野半蔵

三十四年元旦を迎え我が校友会員各位の健康を祈り、母校を内容の充実と組織の拡大を図って今年も一段のご協力をお願いします。

の年来の希望をかなえて下さる願いに満ちた。一言にしてはいえぬ。各大学の組織の充実となり、発しては学

が本年二月は必ず賃出される状態に石にかじりついてもこれを成し遂げたいものである。

校友会とはなんぞや、純然たる行政事務だけではない。心と心との和を中心とした強力活動の礎石として本然の姿を見せねばならない。また目的をきき、資料を集めて組合せをま

各地区からの通信及び寄稿文が多数ありましたが紙面の都合で割愛致しましたので深くお詫言上げます

# 明けましておめでとう

大阪歯科大学兵庫県校友会会長

奥野半蔵

# 伸び行く我が仲間

## 白数、柳生両教授迎え盛會 大齒新卒業生歓迎會

恒例の校友新卒業生歓迎會は十二月七日午前十時半から兵庫會館ホールで多数の校友参加のもとに行われた。折りからの晴天に恵まれ十二月とも思えない白和に三々伍々集まって来る大先輩、小先輩に囲まれた新進鋭の士は将来の抱負に胸をはずませながらやかな校友會の盛況のなかにとけ込んで行った。

會はまず總理事の司会で伊藤あり、瀧場爆笑の海に巻き込んだ。副會長の附会のおいさつに始まり、奥野會長あいさつのおと采實の大阪府支部長可見一郎氏、京都府支部長藤本徳雄氏のお祝いの激励があった。

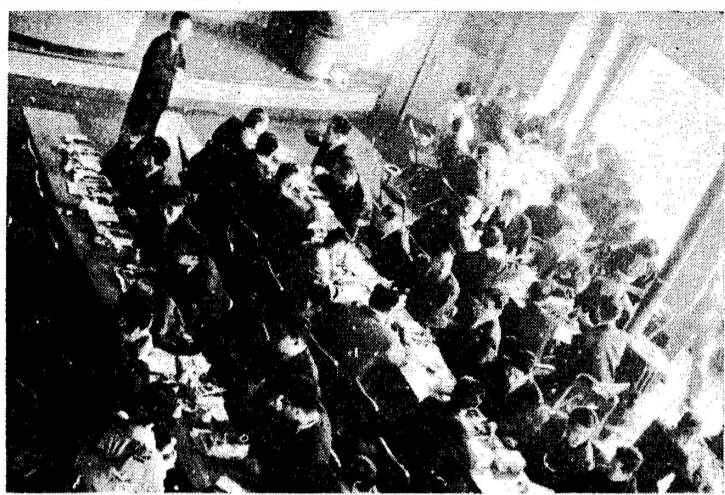
ついで二月月有奈にわたって欧米の齒科事情を視察して来た柳生教授(アメリカ編)白数教授(ヨーロッパ編)のみやげ話に瀧場を魅了し、あと竹中恒夫議員の政界報告が第一幕を終った。



白数教授講演要旨

### 日本の齒学は第一級

アメリカからヨーロッパ各地を回って参りましたが各国によって大分齒科の設備、研究内容に相異がありまして、大林南欧はみるべきものもないように思われ、まじるところが北歐へ参りますと、かなり事情が変りまして、ノルウェー17などは學校の内容は非常によく設備もまた然りであります。それとこんなことも一応批判を下してからはじめてその結論を入れるという氣風があるようです。更にスエーデンに参りますと、衛生施設は全く完備されており、齒科の設備、内容もまた非常に立派で、あるいはノルウェーよりもまた上をいくのではないかと、思



ホールでの懇親會

竹中議員講演要旨  
新卒業生の諸君、おめでとう。皆さんは今春學校を卒業され、大きな抱負を抱いて臨床に或いは學問の研究に勤んでおられることと思います。それとともに齒科医療の今後はどうなるかというのを御心配になっておられることと思

### 将来は補綴面の補正

#### 甲表採扱は我等に有利

医学の進歩率と所得の上昇率との間には当然ギャップが出来て参ります。このギャップは、誰かが埋めるのか。それは世界一高い保険料を払いかつ強制的に履行されている以上は國家が責任を持つべきであります。であります。日進歩の医学の進歩にともな

次に敢えて諸々の反対を押し切つてまで甲表に踏み切つた理由についてお話致します。  
1まず第一は報酬金の拡大であります。  
2その次は近代医学に少しでも近づこうとする意欲の現われであり、診断に科学性を持たすというところあります。  
3次に補綴の点数は低いが、医者である限り医療によって食べないかねばならない、物を作らねば収入がないというのは間違いないので、作つた物を売るので

と、比較にならず些か意外の感に打たれるほどであります。全般にいえば建物は、道路は立派であるが、研究内容は幅は広いけれどもそろそろ込んだことはやられていないことが多いのではないかと。それとそれ自分のことだけて精一ばいで、とても人のことなどかまっておれないというのが実情のようでありませぬ。

### 奥行のない米國

#### 柳生教授講演要旨

各都市を回りまして一番強く感じたことは新進鋭ブームである。あつて使用されている器材器具などは、日本がなんでも取り入れるのが非常に早いため、特に目新しいものはなかつたやうであります。

アメリカでは収入が一定程度越える、それ以上は殆んど税金にとられるのでそれ以上は働かないという風です。又子孫の為に美田を買わすというふうな氣風があるやうに見受けられました。

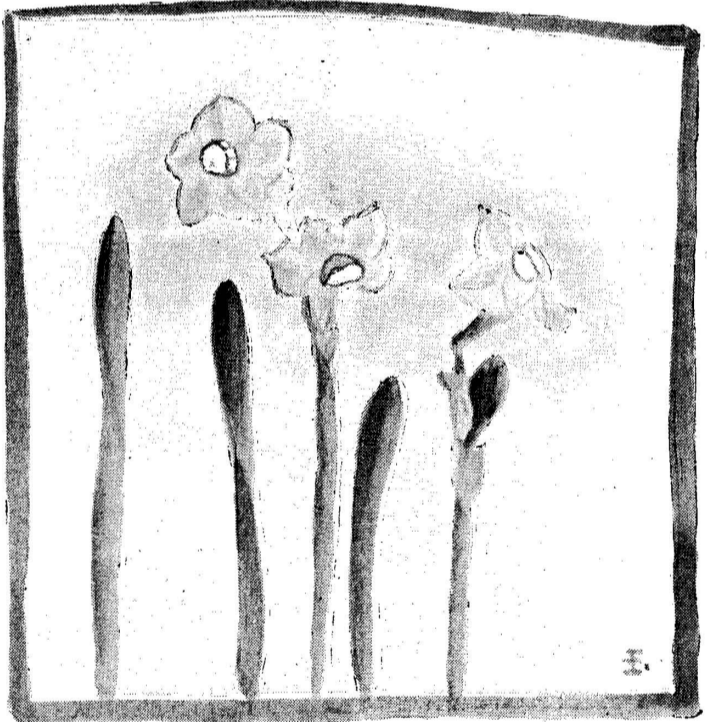
完全であること、恐らくこれは國民性によるものではないでしょうか。  
学校に於ける規律は自由の國でありながら実に厳格で日本の内情は、作る道程の技術を評価すべきであります。ですから將來は印像料、咬合採得料、陶歯、排別料、試験料と評価すること、が正しい行き方であろうと思

最近東独から西独に亡命する医師の数が急増加し、そのため東独では患者三千名に對し医師一名の割合といわれている。かつては醫學者のメッカとなつたドイツに起つた話である。  
ドイツ人は非常に勤勉で努力的だが權力に對して案外弱い國民であるが、そのドイツ人が共産主義政策への反抗を西独への逃亡という形で表現したことは注目すべきである。こつた  
醫師の無言の抵抗の前に東独政府も遂に戦術転換を余儀なくされた。  
權力への抵抗  
されて、醫師に對し研究の自由、西独訪問の自由、子弟の西獨大學入學許可などを發表したらしい。  
わが國の醫師、齒科醫師はドイツ人よりはるかに少くとも自由にはあるが、ひしひしと迫つて来る國民齒科保險、健康診療に對して果してわれわれの醫學的良心を麻痺させることなく自由の立場を取持出来るかどうか、わずかな増収に對して喜ぶ前に根本的に考えなければならぬことは、われら兄弟の閉結でありそれが實際の權力への抵抗にもつながる道である。

### 歯界漫歩

#### 長田区 佐本洛木

松籟のすきて叫喚の陣日当たりのほめき浮きし寒の鯉



画・五川義男

## 謹賀新年

### 大阪歯科大学

校友會會長 吉崎 誓 信  
校友會役員 一 同